

# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は話を聞いて、今日、この時間を生きていらざること  
はすごい事だと思いました。自分の身にいつ何かおこ  
るか分からないので、今を大事に生きていこうと思いま  
した。雄宇也君はワオで亡くなつたと聞いた時、ワオ  
の時の自分を思い出してくださいました。ワオの時の私は小学  
校に入学したこと、少し大人になれた気がして、とても  
毎日が楽しくてしかたなかったことを思い出しました。雄宇  
也くんも同じで、入学がうれしくて毎日が楽しくてしかな  
かなかったに違いないと考えたら、とても悲しくなりました。犯人  
が起訴された後に、笑っていたというのを聞いて、自分が  
したことの重大さに気づいているのかと思い、すごく怒りが  
こみあがてきました。人の命は買うことができないと言う  
話を聞いて、人の命は一度きりのものだから、大切にして  
いきたいと思いました。どんなに不運な事があったりして  
も、冗談だとしても、「死にたい」や「死ね」など「死ね」とい  
う言葉は絶対にいわないようにしようと改めて思いました。

学校名

西仙北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 玲奈 より

玲奈さん、自分がワオの時を思い出しながら、お話を聞いて  
くださったのですね。ありがとうございます。雄宇也くんの気持ち  
と自分のこととして感じてくれたことが伝わってきました。

玲奈さんのように「死ね」という言葉を言わないようにする  
人がふえたらいいのになどから思いました。



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



先日は命の大切さ学習教室を開いていただきありがとうございました。

自分はこの教室で心の中でモ残念な気持ちと頑張ろうという気持ちが湧いてきました。

熊谷雄宇也くんの事件は本当に残念で自分も心がとても痛くなります。その日の事件がなかなうと考えると余計にそう思ってしまいます。ただこのような言葉を言ってしまうと申し訳ないのですが、

その事件がなかったら自分達は命の大切さについて深く考えることはなかたかもしれません。

今を生きたい人、明日を生きたい人、そんな人がたくさんいると思います。その中で生きることができるいい自分達(?)本当にうれしいことなんだなと感じています。全員が幸せを当たり前に過ごしていくような毎日ですが、中には苦しくて生活をしていよいもいます。その人達の分も、幸せに生活をしている人達が頑張る。これが、全員が幸せな生活を送っていくための一歩だ"と思います。

この教室を開いて下さった熊谷雄宇也くんのお母さんが話してくれた内容を一生忘れずに生きていきたいと思います。また、この経験を生かして、自分が周りの人、友達、家族が幸せに生きていいくことができるように、自分の中でもやねよこころはめ、2、一つの命を守り抜いて、一つの命を取次ったりすることができるように、元気張ろうと思ひます。そして、自分の方が相手に害を与えないようにするということも、日頃から注意して意識して生活していくたいなと思います。最後になりますが、熊谷雄宇也くんのお母さん、今日はこのような会を開いていただき、本当にありがとうございました。これからもお身体に気を付けてお過ごしください。

学校名

西仙北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

柳葉 一路 より

一路さん 今を生きている人達にもいろいろな人達がいること、様々な人達がいるからこそ、自分がどうしてければいけないかを考え、そこで行動することは大変なことです。感じえたことを継続することを期待しています。



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



このお話を聞いて、生きているということに感謝したいたなと思いました。生きなくても生きられなかつたらたちは帰りたい明日があるんだ"だと思いました。悲しい思いをしたのは、本人だけではなく周りの人たちも"と知りました。たとえ通い慣れて道でもこの世に完璧な人はいない、だから自分でも気をつけようと思いました。親にとって自分がどんな存在なのかを知りました。「いってきます」と言って学校へ行き、「ひでいき」と帰ることにうれしく感じます。交通事故だけじゃなく身の周りの人の言葉一つで傷つく人もいます。ほので、他人の嫌がることは言わず、困っている人を助けるよとしました。友達や家族を大切にしたいと思いました。この世にいる全ての人が人生をハッピーエンドで終えられるわけじゃないんだねと思いました。自分だけ幸せであればいいと思なことはありませんが、意識して生活したいです。この世で自分が生きていること、家族がいることをほこりに思って過ごしています。

学校名

西仙北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

吉田 珠有莉 より

「他人の嫌がることは言わず、困っている人を助ける。」珠有莉さんのこの心掛けはとても立派だと思います。

これからも命の大切さを忘れず、友達や家族を大切にしてくださいね。



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成17年11月28日、当時小学1年生の雄也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌29日に亡くなりました。



もし私の家族があなた事故で亡くなったら... どう答えるならとでも  
怖く、悲しくなりました。私はものすごく家族が大好きです。  
その家族を失ったなら わたくまでの私はいけないと思います。  
雄也くんのお母さんもとてもとても悲しく寂しかったと思います。  
今でもその気持ちちは雄也くんのお母さんの中へ大きくなる  
と思います。なんの中にこのお話を聞かせてくれたときに  
感謝します。生き場のない思い、どこにもふらりやまない思いを  
おがえて生きていっては大変だと思いますが、雄也くんのお母さん  
うん頑張ってください。応援しています。私は空手を今年までやって  
いました。誠和会です。雄也くんももしやしたら誠和会だから思  
いました。道場は横手ではなべ神岡です。小さいことではありますか  
雄也くんとの共通点を見つめられたような気がしてうれしかった  
です。私も事故ではありませんが、お別れの言葉もなく大切な人を  
失した経験があります。後悔の気持ちがとても大きかったです。  
その経験も今回のお話をされた経験もこの先の私につながります。  
この度はありがとうございました。

学校名

西仙北中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 ひな より

ひなさん、熊谷さんの気持ちを考える話を聴いてくれて、  
ありがとうございます。共通点があると、お話しの一層身近に  
感じられますよね。お別れの言葉もなく、大切な人とたくさんこの  
こと、どれほど寂しく悲しかったかと思います。この日のひなさんと  
ご家族の幸せを願っていります。



# 命の大切さ学習教室に参加して

熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学 1 年生の雄宇也くんは、下校途中に乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



大事な大事な息子が亡くなり、辛く苦しい中皆に命の大切さを伝えに来てくださいました。ありがとうございました。  
ニュースなどで事故の話を聞いてもなかなか命の重さを感じることができませんでしたが、こうして命の大切さ学習教室を開いてくださったおかげで改めて命の重さを知ることができました。今まで私は、事故や事件は自分の身には起こらないだろと思っていました。しかし、そう油断しているときに限って事故などは起こります。そして死んでしまうと、残された人達が辛く悲しくなってしまうということを忘れないように普段から注意して過ごしていきたいと思います。また、小学校のときから教わってきた左右の確認は、歩くときでも、車や自転車に乗っているときでも、そして大人になっても大切な人だなあと思いました。身内の人や大切な人が事故などによって失ってしまうと、とても辛く、苦しく、悲しいです。そんな中でも、命の大切さを伝えるために、勇気を出してこの活動を行っている熊谷さんにとても感謝しています。大変身勝手ではありますがこの活動を続けて、沢山の人に命の大切さを教えて貰いたいと思います。

学校名

西仙北中学校

氏名 氏名を出さない方は記入しないでください。

より

事故は自分には起こらないと思っていたことは、それほど今まで安全に過ごせていたという証でもあります。これからも、その安全な生活を守れるように、左右の確認を続けて、自分の身も家族も大切にしてくださいね。熊谷さんか、勇気を出してお話してくれた内容をしっかり聞いて、たくさん考えて貰うございます。

